

社会健康医学研究に係る令和元年度の取組及び令和2年度の実施内容（予定）

総括	研究分類 (主任指導者)	研究者名	研究テーマ	研究内容等	研究期間	始期	令和元年度 取組	令和2年度 実施内容（予定）
宮地良樹	ビッグデータ (宮田 裕章)	森 潔 中谷 英仁 山本 博之 一原 直昭 宮田 裕章	①生活習慣改善の重要性に関するエビデンス構築	生活習慣と疾患発症リスクの関係をデジタル化し、健診時にその個人のリスクに基づいた指導介入を行う。次年度に改善がみられるかどうかを調査し、介入の有効性を検証する。	4年	H30	・データ解析を実施 ・人工透析導入につながる要因に関する研究成果を発表（10/23 日本公衆衛生学会）	・更なるデータ解析 ・他の生活習慣病の発症リスクの解明、論文化
		小谷 仁人 一原 直昭 中谷 英仁	②時間を考慮した要介護特性要因の探索とその結果による保健指導や受診勧奨	介護保険の非利用者と利用者をグループ化し、特定健診の検査結果やアンケートの分布の違いを探索することで、要介護者となる因子を同定する。	2年	H30	・データ解析を実施 ・要介護認定につながる要因に関する研究成果を発表（2/21 日本疫学会） ※令和元年度で完了	—
		宮田 裕章 一原 直昭 平原 憲道	③健康長寿に関するアプリの開発研究	医師や保健師が現場で活用できる健康長寿に関する市民向けアプリの開発及び次世代型医療ビッグデータ基盤への展開	3年	H30	・アプリのシステム設計 ・試行アプリを活用し、一部市町で保健指導を実施	・アプリの本格開発 ・県内市町における保健指導への活用 ・行動変容への寄与を分析、論文化
		宮田 裕章 隈丸 拓 平原 憲道 西村 志織 中谷 英仁 香坂 俊	④レセプトデータを用いた2型糖尿病患者における心不全入院の発生率および医療費・医療資源に関する後向きコホート研究	レセプトデータを用いて、2型糖尿病患者の心不全入院における医療費及び医療資源の評価、心血管アウトカムの抑制に主要な役割を果たすと考えられるSGLT2阻害薬の使用実態の評価、薬剤間での心不全入院または主要心血管イベント発生率の比較等を行う。	4年	R 1	・2/17 日英シンポジウム 2020 において口頭発表	・データ解析を実施
		中谷 英仁 佐藤 洋子 山本 精一郎	⑤医療ビッグデータ解析における環境整備	臨床経過を示すグラフ表現モデルを適応し、妥当性を検証する。さらに提案モデルを利用し、医療従事者および患者に与えるインパクトについても考察する。	5年	H30	・解析用データセットの整備と情報共有 ・データ解析を実施	・更なるデータ解析 ・解析結果の論文化
		後藤 晴香	⑥KDB データベースによる尋常性乾癬とメタボリックシンドロームの解析	KDB データを用いて、乾癬とメタボリックシンドロームの関連について調査を行い、乾癬発症リスクに関連する因子について解析する。	2年	R 1	・データ解析を実施 ・日本皮膚科学会東部・東京支部合同学術大会で演題発表（11/16、合同学会賞受賞）	・皮膚科学術雑誌へ論文投稿
		八木 宏明	⑦KDB データベースによる帯状疱疹及び帯状疱疹後神経痛の発症リスク因子解析	KDB データを用いて、年齢、性別、発症月、地域差、併存疾患、治療内容などの患者背景について分析するとともに、帯状疱疹後神経痛発症のリスクを調べ、帯状疱疹後神経痛発症の増悪因子について探索する。	2年	R 1	・データ解析を実施	・論文作成、投稿
		宮田 裕章 野村 周平	⑧KDB データベースによる医療・介護システム評価研究	医療・介護ビッグデータを用いて、疾病・介護リスクの早期発見と将来のリスク予測のための数理モデルの構築、さらに、過剰な医療介入の関連コスト・要因の同定を行う。	3年	R 1	・解析用PCの購入、データ解析に着手	・データ解析を実施
		宮田 裕章 二宮 英樹 一原 直昭 山本 博之 隈丸 拓 平原 憲道	⑨KDB データによる診療報酬請求状況に基づく骨粗鬆症処方実態調査	KDB データを用いて、骨粗鬆症に対する適切な薬剤治療がされているか、処方実態調査を行う。	4年	R 1	・データ解析を実施	・データ解析を実施
		山本 博之 宮田 裕章 一原 直昭 隈丸 拓 平原 憲道 中谷 英仁 小谷 仁人 嶋田 光希 森 潔	⑩KDB データベースによる免疫チェックポイント阻害薬の薬剤使用と副作用の実態調査	KDB データを用いて、実臨床で行われた治療や服薬実態を把握することで、ICPI 使用後の免疫関連有害事象の発症を記述する。	5年	R 1	・データ解析を実施	・データ解析を実施

総括	研究分類 (主任指導者)	研究者名	研究テーマ	研究内容等	研究期間	始期	令和元年度 取組	令和2年度 実施内容(予定)
宮地 良樹	ビッグデータ (宮田 裕章)	山本 博之 宮田 裕章 一原 直昭 隈丸 拓 平原 憲道 中谷 英仁 小谷 仁人 嶋田 光希 森 潔	⑪KDB データベースによる手術や処置とアウトカムの関連性について	KDBデータを用いて、手術や処置とアウトカムの関連性について、介護情報などを含む背景因子によるリスクの推計、新規収載された処置・術式の評価、背景因子ごとに処置の前後やアウトカム前の資源利用について明らかにする。	5年	R 1	・データ解析を実施	・データ解析を実施
		中谷 英仁 白井 敏博	⑫KDB データベースによる成人喘息患者の発症リスク因子の探索と AI による喘息発症予測システムの構築	成人の喘息を起こす原因として挙げられる生活習慣を探索するとともに、人工知能技術を駆使して、喘息発症の可能性のある人を早期から確実に見つけ出すシステムを構築する。	5年	R 1	・倫理審査受審、承認 ・解析用データセット作成	・データ解析を実施
		中谷 英仁 宮下 晃一	⑬KDB データベースによるインフルエンザ関連肺炎の解析	データベースを用いて、インフルエンザ関連肺炎の特徴およびリスク因子を探索する。	2年	R 1	・KDBデータからインフルエンザ及びインフルエンザ関連肺炎の発症者を同定	・データ解析を実施
		東園 和哉 中谷 英仁 田原 康玄	⑭KDB データベースを用いた、術後患者の介護度悪化の原因となるリスク因子の抽出	患者の術後の合併症、入院期間延長、また介護度悪化リスクを術前のレセプト・特定健診データから抽出することで患者に対する治療への適性を評価する。	3年	R 1	・データ解析に着手	・KDBデータの解析
		宮田 裕章 山本 博之 平原 憲道 一原 直昭 隈丸 拓 西村 志織 野村 周平	⑮COPD 患者の特徴および疾病・経済的負担の調査研究	COPD(慢性閉塞性肺疾患)の患者や治療の特徴及び財政負担の詳細を明らかにし、エビデンスに基づく県の医療政策に寄与する。	2年	R 2	—	・データ解析を実施 ・診断と呼吸機能と治療の関連性を評価、論文化
		宮田 裕章 隈丸 拓 西村 志織 香坂 俊 庄司 聡	⑯レセプトデータを用いた高齢者のフレイル測定ならびに評価指標と薬剤使用実態や臨床アウトカムとの関連に関する研究	レセプトデータを用いて、ポピュレーションベースでの後期高齢者におけるフレイルの実態や循環器疾患におけるアウトカムとの関連、薬剤使用実態との関連の評価等を行う。	2年	R 2	—	・データ解析を実施
		一原 直昭	⑰静岡県における「地域づくりによる介護予防」政策に基づく住民運営による通いの場の事業評価	介護予防政策としての住民運営による通いの場について、この種の事業が成立する地域の特性、事業に参加する住民の特性、サービス内容、利用者の利用頻度、サービス内容についての利用者のニーズや嗜好等を把握した上で、追跡調査を行い、ADL や認知機能、生活状態、自覚的健康観等のアウトカムを評価する。	4年	R 2	—	・研究フィールドの選定
		一原 直昭	⑱レセプトデータに基づく疾病の頻度、年次推移、地理的分布、および季節変動の推定	国民健康保険加入者のレセプトデータを用いて、感染症、中毒症、精神疾患関連傷病等の発生場所と季節、患者背景を中心とする記述的研究を行う。	3年	R 2	—	・データ解析を実施
		一原 直昭	⑲医療・健康サービスの需要、供給および内容に影響を与える、医療資源密度並びに地域特性の探索	静岡県における地域特性や医療資源密度が、医療・健康サービスの需要、供給、および内容(質)にどのような影響を及ぼすのかを探索的に解析検討する。	2年	R 2	—	・データ解析を実施